

平成30年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	子どもの発達段階に応じる音読・朗読と絵本とその読み聞かせ
受講者定員	100人
受講対象者	全教員
開設日	平成30年8月18日～平成30年8月19日
講習の形態	主として講義
講習時間	12時間
講習会場	鳴門教育大学 総合学生支援棟 3階 F会議室（予定）
担当講師	余郷 裕次
受講料	12,000円

講習の内容	<p>音読・朗読をあらゆる学校種の教諭の基礎技能として学ぶ。また、絵本の読み聞かせの幼児教育にとどまらない教育的効果について見識を高める。</p> <p>また、絵本とその読み聞かせの利用が、保健室においても効果的であることを知る。</p> <p>さらに、『給食番長』など食育に関する絵本とその利用に関する見識を深める。</p> <p>1・2講時：絵本の仕掛け／3・4講時：絵本の読み聞かせの原則／5・6講時：絵本の読み聞かせ</p> <p>7・8講時：読みの発達段階／9・10講時：声のレッスン／11・12講時：読みあい活動</p>
講習のねらい	<p>音読・朗読は、学校種や教科に関わらない基礎的スキルである。本講習では、子どもたちの読みの発達段階に則した音読・朗読の技術について学び、実践を試みる。また、子どもたちの心を理解し、子どもたちとコミュニケーションする媒材として、絵本とその読み聞かせの教育的利用とその効果について理解する。</p> <p>さらに、絵本の読み聞かせの実技演習を通して、絵本の読み聞かせの知と心とを体得する。</p>
講習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 絵本の仕掛け(ア. まるい大きな正面顔／イ. 画面構成／ウ. 色彩／エ. 進行方向／オ. 絵本モニター)とその効果について理解する。 ② 読み聞かせの教育的効果(ア. 母親語／イ. 右脳左脳同時活性／ウ. 視覚的共同注視)について理解する。 ③ ①の知見によって、絵本の絵の仕掛けを分析することができる。 ④ ②の知見を活かして、絵本の読み聞かせを実践することができる。 ⑤ 子どもを理解し子どもとコミュニケーションするために、絵本とその読み聞かせを利用する方法を理解する。 ⑥ 読みの発達段階(住む段階→眺める段階→意味づける段階)について理解する。 ⑦ 読みの発達段階に則した音読・朗読の仕方について理解する。
講習スケジュール	<p>平成30年8月18日～平成30年8月19日</p> <p>第1日目</p> <p>8時50分～ 9時00分 オリエンテーション</p> <p>9時00分～10時30分 講義</p> <p>10時40分～12時10分 講義</p> <p>12時10分～13時00分 昼食休憩</p> <p>13時00分～14時30分 講義</p> <p>14時40分～16時10分 演習</p> <p>第2日目</p> <p>9時00分～10時30分 講義</p> <p>10時40分～12時10分 講義</p> <p>12時10分～13時00分 昼食休憩</p> <p>13時00分～14時30分 講義</p> <p>14時40分～16時10分 演習</p> <p>16時18分～16時20分 試験説明</p> <p>16時20分～17時00分 履修認定試験</p> <p>17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項</p>
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	<p>成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。</p> <p>履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。</p>
持参するもの	筆記用具
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。